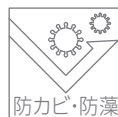
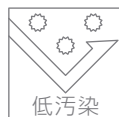


一液低汚染ナノ架橋形ウレタン変性水性上塗塗料

アレス水性ナノトップU

適用素材 鉄、コンクリート、モルタル等



アレス水性ナノトップU

特長

- 1 高光沢で肉持感のある仕上り。
- 2 艶調整(5分艶)可能。艶調整の色域は淡彩～濃彩までできます。
- 3 艶調整品は内・外部に使用できます。

用途

鉄部：アクアマックスEXとの組合せでオール水性鉄部塗装システムの完成。

外壁：●アレスホルダーGII・Z等との組合せで、外壁塗替え仕様に。
●中・濃彩でも、艶調整(5分艶)仕上げができます。

鉄部暴露写真



鉄部用水系塗装システム
下塗:アクアマックスEX
上塗:アレス水性ナノトップU



既存水性システム

塩水噴霧240hr

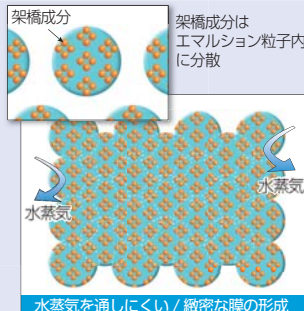
外壁

- アレス水性ナノトップU
- アレスホルダーGII
- アレス水性ナノトップU
- エコカチオンシーラー

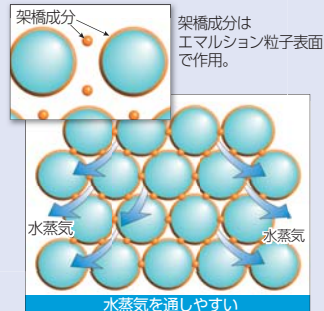
ナノ架橋とは→ナノ分散した成分の架橋

(1ナノメートルは10億分の1m)

■ ナノ架橋形造膜イメージ

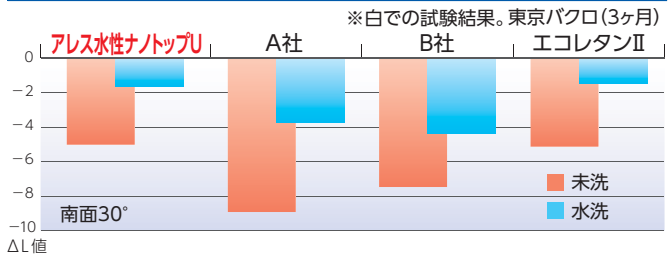


■ 従来の粒子間架橋形造膜イメージ



- 4 バリヤー性に優れます。
- 5 耐汚染性、耐候性に優れます。
- 6 乾燥性に優れます。

耐汚染性



塗料性状

塗料系統	ナノ架橋形ウレタン変性水性上塗塗料
比重	1.22(白)
加熱残分(%)	54(白)
ホルムアルデヒド等級区分	F★★★★
TVOC(%)	5.5(白)
環境ホルモン物質	配合せず
鉛・クロム・重金属	配合せず

乾燥および塗装間隔

項目	温度		
	5℃	23℃	
乾燥時間	指触	30分	10分
	半硬化	90分	30分
標準塗装間隔	最短	4時間	2時間
	最長	7日	7日

素材別適用下塗

素材	下塗	
鉄	アクアマックスEX	
ステンレス		
アルミニウム	スーパーザウルスII	
亜鉛メッキ		
ボンデ鋼板		
木部	ラワン	アクアグランドコート
	スギ	
	ヒノキ	
モルタル	エコカチオンシーラー	
	エポキシシーラー	
	エコカチオンシーラー+アレスホルダーGII(Z)	
窯業系サイディング	エポキシシーラー	
硬質塩ビ	無し	
FRP	スーパーザウルスII	

防水形弾性複層塗材(JIS A 6909,6021 など)の上塗りとしては使用できません。旧塗膜への塗装は下塗り塗料との組合せが基本となります。

荷姿・色・艶

荷姿	15kg・3kg
色	白および、黒・赤・赤さび色・黄土色・緑・青・黄
艶	艶有り・5分艶



KP-111



KP-110



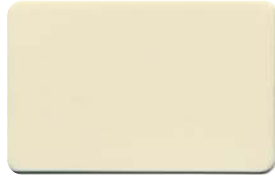
KP-112



KP-223



KP-310



KP-121



KP-133



KP-221



KP-120



KP-127



KP-131



KP-80



KP-337



KP-336



KP-141



KP-247



KP-330



KP-147



KP-350



KP-75



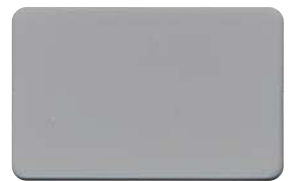
KP-347 ◎



KP-150



KP-352



KP-70



KP-356



KP-357



KP-368 ◎



KP-50 ◎



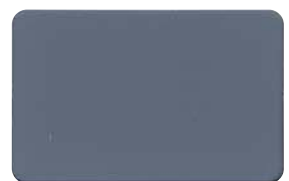
KP-367 ◎



KP-167 ◎



KP-376 ◎



KP-379 ◎



KP-170 ◎



KP-385 ◎



KP-185 ◎

※この色見本は、紙に塗装していますので
 実際の仕上りと多少異なります。
 ※提案色以外でも日本塗料工業会色見本帳
 などでの調色も可能です。
 ◎印は、材料費が割高になります。

アレス水性ナノトップU

標準塗装仕様

■ 鉄 部

工 程	塗料名・処置	塗装回数	標準所要量※ (kg/m ² /回)	塗装方法	塗装間隔 (23℃)	希釈率 (重量%)
素地調整	新設の場合：あらかじめ工場ですび止め塗装された面の劣化した塗膜、浮き錆は入念にケレンし、除去する。 油脂、汚れなどは、ワイヤーブラシ、サンドペーパーなどで除去し、清浄な面とする。 塗替の場合：電動工具、手工具を用いて劣化した旧塗膜を除去し、浮き錆は入念にケレンし、除去する。 油脂、汚れなどは、ワイヤーブラシ、サンドペーパーなどで除去し、清浄な面とする。					
(補修塗)	新設の場合：工場塗装された溶剤形さび止め塗膜における架設時の欠損部を現地に、アクアマックスEXで補修塗する。 塗替の場合：素地の露出がある場合にはアクアマックスEXを補修塗する。					
	アクアマックスEX	1	0.14	ハケ、ローラー	4時間以上7日以内	0~5(上水)
下塗	アクアマックスEX	1	0.14	ハケ、ローラー	4時間以上7日以内	0~5(上水)
上塗	アレス水性ナノトップU	2	0.13	ハケ、ローラー	2時間以上7日以内	0~10(上水)

※標準所要量は個々の条件によって異なります。

※1 塗装用具

- ①ハケ/ナイロン刷毛は塗料の含みの良い「塗来」(大塚刷毛製造(株)製)などをお薦めします。獣毛刷毛は「刷毛固まり」を起こす場合がありますのでご注意ください。刷毛固まりのしにくい「水星」(大塚刷毛製造(株)製)などをお薦めします。
- ②ローラー/ウーパントップUをご使用いただくことで仕上り性が向上します。「WAKABA」「ウレタンくん」(大塚刷毛製造(株)製)などをお薦めします。
- ※2 素材が亜鉛めっきの場合は、下塗塗料にスーパーザウルスIIを使用してください。室内の場合、洗剤やワックス成分は完全に除去し、必要に応じて脱脂してください。
- ※3 鉄骨階段・床および踏み面への適用は避けてください。

刷 毛	ローラー
ナイロン刷毛 「塗来」	ウーパントップ 「WAKABA」
獣毛刷毛 「水星」	「ウレタンくん」
大塚刷毛製造(株)	

■ 外 壁 (塗替え時の仕様)

工 程	塗料名・処置	塗装回数	標準所要量 (kg/m ² /回)	塗装方法	塗装間隔 (23℃)	希釈率 (重量%)
素地調整	モルタルの浮き・クラック等は適切な処置を行う。劣化塗膜やチョーキング・汚れ等を高圧水洗にて除去し乾燥した清浄な面とする。					
下塗	アレスホルダーGII	1	0.3~1.5	ローラー	8時間以上7日以内	1~10(上水)
上塗	アレス水性ナノトップU	2	0.1~0.15	ハケ、ローラー	2時間以上7日以内	0~10(上水)

※新設または素地調整でコンクリート素地が露出した面には、エコカチオンシーラーを塗装した後に、アレスホルダーGIIを塗装してください。

施工上の注意事項

- ①さびの除去は入念に実施してください。さびが残存した面に塗装すると、乾燥過程でさびが発生する場合があります。点さびが発生した場合はアクアマックスEXにて補修塗りをしてください。
- ②さびの除去が十分に行えない塗装部位や海浜地区などの厳しい環境には溶剤形のさび止め塗料をお勧めします。
- ③新設物件などで、工場塗装される場合には溶剤形のさび止め塗料をお勧めします。架設後の塗装はアクアマックスEXをご使用ください。
- ④素材(旧塗膜が無い)へ塗装したアクアマックスEXにピンホールや塗り残し部が存在した場合、水性上塗塗料を塗装すると点さびが発生しますので、必ずピンホール(ハケ塗り推奨)や塗り残しがないよう塗装してください。
- ⑤顔料沈降している場合がありますので、開缶後よくかき混ぜて中身を均一にしてください。
- ⑥旧塗膜に光沢感がある場合と著しくチョーキングが発生している場合は、入念に目直しし、塗装面清掃を行ってください。
- ⑦水による希釈は規定量を厳守してください。過希釈はタレやハジキが生じやすく、さらに膜厚確保ができず耐久性が損なわれます。
- ⑧乾燥が早い休憩などによる作業時間が空く場合、塗料に刷毛やローラーを浸したまま、密栓してください。
- ⑨一度に厚く塗りすぎると、乾燥不良や中膜が生じますので、規定膜厚を遵守してください。
- ⑩塗装用具の洗浄は水で行えますが、取れにくい場合は、ラッカーシンナーをご使用ください。また、アレス水性ナノトップU及び、アクアマックスEXは反応硬化型塗料ですので、洗浄は作業が終了した時点で行ってください。
- ⑪降雨が予想される場合は、塗装を避けてください。
- ⑫5℃以下の低温、75%以上の高湿度、または換気が十分でなく結露が生じる場合は塗装を避けてください。
- ⑬気温 0℃以下、40℃以上での保管は避けてください。
- ⑭塗り重ね時間は塗装環境(温度、湿度、換気、風通しやすさ)や膜厚によって変動します。
- ⑮取り合いなどによって、弱溶剤形上塗塗料を塗装される場合は、塗り重ね時間を十分に確保することをお願いします。
- ⑯エアレスによる塗装の場合は塗装ミスによる汚染防止のために十分な養生を行ってください。
- ⑰屋根など結露が生じやすい部位や没水部への適用は避けてください。
- ⑱汚れ、傷などにより補修塗りが必要な場合がありますので、使用塗料の控えは必ずとっておき、同一塗料、同一ロット、同一塗装方法で補修塗装をしてください。
- ⑲暗所に適用された場合、黄変することがあります。
- ⑳白、淡彩系の塗色(特に艶調整品)は、下地の素材や形状、下塗りの塗色によって隠蔽性(トマリ)に影響を受ける場合があります。

ご使用上の注意事項

下記の注意事項を守ってください。詳細な内容については安全データシート(SDS)をご参照ください。

- 取り扱い作業中・乾燥中ともに換気のよい場所で使用し、粉じん・ヒューム・ガス・ミスト・蒸気・スプレーを吸入しないこと。必要な保護具(帽子・保護メガネ・マスク・手袋等)を着用し、身体に付着しないようにすること。
- 吸入に関する危険有害性情報の表示がある場合、有機ガス用防毒マスク、又は、送気マスクを着用すること。
- 又、取り扱い作業場所には局所排気装置を設けること。
- 皮膚接触に関する危険有害性情報の表示がある場合、頭巾・えり巻きタオル・長袖の作業着・前掛けを着用すること。
- 本来の目的以外に使用しないこと。
- 指定材料以外のものとは混合(多液品の混合・希釈等)しないこと。
- 任の取っ手を持って振ったり、取っ手をロープやフックで吊り下げたりしないこと。
- 取り扱い後は、洗顔、手洗い、うがい、及び、鼻孔洗浄を十分行うこと。
- 使用済みの容器は、火気、溶接、加熱を避けること。
- 本品の付いた布類や本品のかす等は水に浸して処分すること。

- 目に入った場合：直ちに、多量の水で洗うとともに医師の診察を受けること。
- 皮膚に付着した場合：直ちに拭き取り、石けん水で洗い落とし、痛みや外傷等がある場合は、医師の診察を受けること。
- 吸入した場合：空気の清浄な場所で安静にし、必要に応じて医師の診察を受けること。
- 飲み込んだ場合：直ちに医師に連絡すること。無理に吐かせないこと。
- 漏出時や飛散した場合は、砂、布類(ウエス)等で吸い取り、拭き取る。
- 火災時には、炭酸ガス、泡、又は、粉末消火器を用いること。
- 指定容器を使用し、完全にふたをして湿気のない場所に保管すること。直射日光、雨ざらしを避け、貯蔵条件に基づき保管すること。子供の手の届かない場所に保管すること。又、関連法規に基づき適正に管理すること。
- 本品の付いた布類や本品のかす、及び、使用済み容器を廃棄するときは、関連法規を厳守の上、産業廃棄物として処分すること。(排水路、河川、下水、及び、土壌等の環境を汚染する場所へ廃棄しないこと。)
- 本品は揮発性の化学物質を含んでいますので、塗装直後の引渡しの場合は、施主様に対して安全性に十分に注意を払うように指導してください。
- 例えば、不特定多数の方が利用される施設などの場合は、立看板などでペンキ塗り立てである旨を表示し、化学物質過敏症ならびにアレルギー体質の方が接することのないようにしてください。

関西ペイント販売株式会社

関西ペイントホームページ
www.kansai.co.jp

本社 TEL(03)5711-8904 FAX(03)5711-8934
北海道 TEL(0133)64-2424 FAX(0133)64-5757
東北 TEL(022)287-2721 FAX(022)288-7073
北関東 TEL(028)637-8200 FAX(028)637-8223
東京 TEL(03)5711-8905 FAX(03)5711-8935

中部 TEL(052)262-0921 FAX(052)262-0981
大阪 TEL(06)6203-5701 FAX(06)6203-5603
中国 TEL(082)262-7101 FAX(082)264-3285
四国 TEL(0877)24-5484 FAX(0877)24-4950
九州 TEL(092)411-9901 FAX(092)411-3339

※製品改良のため仕様は予告なしに変更することもございますのでご諒承ください。

ご用命は

(16年10月01日PNA) カタログNo.582